

垂水一心

編集：垂水中央中PTA広報文化部 発行：垂水中央中学校PTA

総合的な学習の時間

ふるさと垂水について

漁業体験学習

一年二組 田之上 智美

今回の漁業体験では、主に三つの作業に取り組みました。一つ目は、施設の見学です。大きな冷蔵庫の中に入ると、マイナス15℃の寒さの中、凍ったかたくりいわしや小さな魚が高く積み重ねられていました。二つ目は、餌やり体験です。船に乗り養殖されているカンパチにいろいろ考えて作られた餌をいけすへ投げ込むと、一斉に集まってきました。たくさんのカンパチが、いくつもいけすで育てられていることに驚きました。

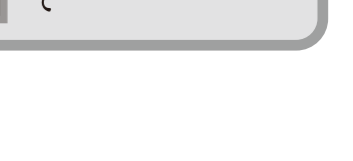


この経験を通じて、漁業の重要性や、環境の大切さについて学びました。また、地元の人々と交流する機会も得ました。来年は、もっと詳しく漁業について学びたいと思います。

ききました。この経験を今後、地域の発展に生かしていきたいと思えます。今回このような機会を与えてくださったみなさん、本当にありがとうございました。

二年三組 吉田 莉愛

今回は、「ふるさと垂水」で大野に行きました。垂水市よりも気温が低かったので快適に過ごせました。畑がたくさん広がっており、いい所だなと感じました。



史跡めぐり

三年二組 川嶋 優

「ふるさと垂水」で、私たちが暮らしている垂水の史跡を巡りました。新の上田家は、小学生の時にいつか来たところだったので、懐かしかったです。

そのほか、史跡は、初めて見るものばかりで、垂水にもこんなに歴史ある場所があるんだと驚きました。今まで知らなかったことを知り、学ぶことが出来てよかったです。このような経験は、もうないと思うので、今回学んだことをしっかりと大切にしていきます。

今後の活動

- ◎一年…平和学習
- ◎二年…立志のつどいに向けて
- ◎三年…礼儀作法



史跡めぐり

森人クラブの方々とともに、おもしろい方々でした。いんげん収穫では、いんげんの採り方を教えていただきました。いんげんの採り方を初めて知り、また収穫したいなと思いました。今回はたくさんの方々の貴重な体験をさせてくださり、本当にありがとうございました。

実行委員会としての重圧

体育大会実行委員長 有馬 康平

第九回体育大会は、例年とは一味違うものとなった。雨により一日延期となり、生徒会長不在となった。

僕はこの体育大会を例年にならぬ程に盛り上げたものにして、心の中で決めていた。実際、本番ではどの回からも勝ちたいという気持ちも伝わってきた。でも、そこまでつくり上げるのは決して簡単ではなかった。

一人ではつくり上げることはできず、部長や先生方のサポートもあってつくり上げることができた。

この体育大会が楽しかったという声をたくさん聞いた。それを聞いて僕は、実行委員長としてやってよかったなと改めて感じた。そして、みんなの勝ちたいという気持ちも伝わってきた。最後に頼りに僕に最後までついてきてくれて本当に感謝。

最高の体育大会

赤組団長 竹之下 零士

今回赤組の団長になって、楽しい思い出がたくさんある。最初は、自分が何をしたいのか分からず、演舞も全然覚えることができませんでした。そんな時、応援団の三年生のみんなや先生方が教えてくれました。ほくは、みんなに支えてもらって応援団長をやっているのだと思え、改めて赤組全員でダブル優勝しようと思えました。

全体練習が始まって、みんなが言っていることを聞いてくれるか分からなかったけれど、みんな言うことを聞いてくれて、本当にスムーズに進めることができました。本番では、みんな練習通りにしてくれて完璧なパフォーマンスができました。完璧にできたので負けても悔いは残らないと思っていたけれど、結果は一番いいダブル優勝でした。

感謝を皆へ

青組団長 川崎 心之輔

僕は、中学校に入学した時から、体育大会では応援団をやるのが夢でした。しかし、二年と叶わず、今年中学校最後の体育大会で応援団、それも団長をやることになりました。決まっていたけれど、練習では緊張もありましたが、それ以上に強いやる気がありました。それ以上、普段あまり接点のない一・二年生の団員と、暑かった夏休みも練習をし、回を重ねることに一致団結していき大会直前には最高の仕上がりになりました。大会当日は、僕を含め団員はもうろんこのこと、青組全員が一つになり、それぞれの競技も一生懸命応援しました。僕は、みんなのその姿に感動しました。いよいよ応援合戦。団長として声が枯れる程応援しました。結果は競技・応援どちらも赤組が優勝で、僕達青組は、残念ながら優勝できませんでした。

全力で戦った日

白組団長 中馬 海星

中学校最後の体育大会、白組の団長として全力で臨むことができました。練習では最初、指示が通らなかつたときもありました。しかし、本番が近づくとつれて、白組のみんなの気持ちを一つにすることができました。とても感動しました。最後の体育大会、優勝することはできなかったけれど、みんな輝いていました。白組最高でした。

た。みんなのおかげで最高の体育大会になりました。ありがとうございました。

編集後記

二期は、一年生広報文化部で新聞作りをしました。初めての会員もいましたが、先生方の協力と行事の多さに助けられ、なんとか完成しました。原稿をお願いした皆様、御協力ありがとうございました。ございました。

二期の思い出を家族で語る機会になればと思います。

印刷：(有)垂水中央印刷

体育大会

スローガン

見せる中央中の底力！

～過去を越え歴史に残る感動を～



9月10日晴天の空の下、体育大会が開催されました。天候不良のため順延となり日曜開催となりました。応援の部、競技の部ともに赤組が優勝を飾りました。赤、白、青組共に、精一杯のさわやかなプレーを見せてくれました。

実行委員会としての重圧

体育大会実行委員長 有馬 康平

第九回体育大会は、例年とは一味違うものとなった。雨により一日延期となり、生徒会長不在となった。

僕は、この体育大会を例年にならぬ程に盛り上げたものにして、心の中で決めていた。実際、本番ではどの回からも勝ちたいという気持ちも伝わってきた。でも、そこまでつくり上げるのは決して簡単ではなかった。

一人ではつくり上げることはできず、部長や先生方のサポートもあってつくり上げることができた。

この体育大会が楽しかったという声をたくさん聞いた。それを聞いて僕は、実行委員長としてやってよかったなと改めて感じた。そして、みんなの勝ちたいという気持ちも伝わってきた。最後に頼りに僕に最後までついてきてくれて本当に感謝。

最高の体育大会

赤組団長 竹之下 零士

今回赤組の団長になって、楽しい思い出がたくさんある。最初は、自分が何をしたいのか分からず、演舞も全然覚えることができませんでした。そんな時、応援団の三年生のみんなや先生方が教えてくれました。ほくは、みんなに支えてもらって応援団長をやっているのだと思え、改めて赤組全員でダブル優勝しようと思えました。

全体練習が始まって、みんなが言っていることを聞いてくれるか分からなかったけれど、みんな言うことを聞いてくれて、本当にスムーズに進めることができました。本番では、みんな練習通りにしてくれて完璧なパフォーマンスができました。完璧にできたので負けても悔いは残らないと思っていたけれど、結果は一番いいダブル優勝でした。

感謝を皆へ

青組団長 川崎 心之輔

僕は、中学校に入学した時から、体育大会では応援団をやるのが夢でした。しかし、二年と叶わず、今年中学校最後の体育大会で応援団、それも団長をやることになりました。決まっていたけれど、練習では緊張もありましたが、それ以上に強いやる気がありました。それ以上、普段あまり接点のない一・二年生の団員と、暑かった夏休みも練習をし、回を重ねることに一致団結していき大会直前には最高の仕上がりになりました。大会当日は、僕を含め団員はもうろんこのこと、青組全員が一つになり、それぞれの競技も一生懸命応援しました。僕は、みんなのその姿に感動しました。いよいよ応援合戦。団長として声が枯れる程応援しました。結果は競技・応援どちらも赤組が優勝で、僕達青組は、残念ながら優勝できませんでした。

全力で戦った日

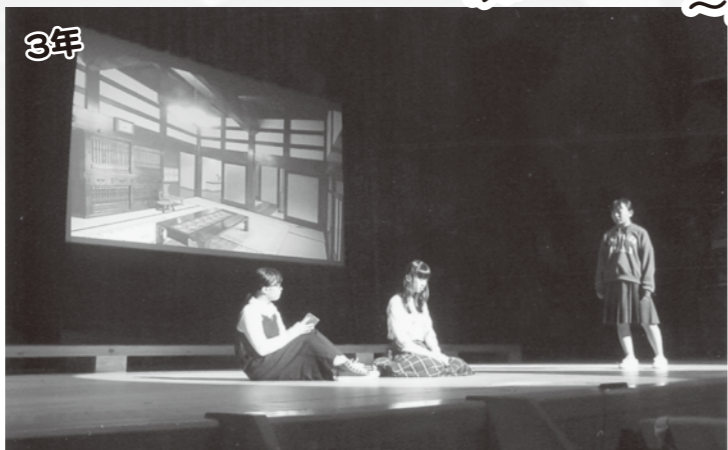
白組団長 中馬 海星

中学校最後の体育大会、白組の団長として全力で臨むことができました。練習では最初、指示が通らなかつたときもありました。しかし、本番が近づくとつれて、白組のみんなの気持ちを一つにすることができました。とても感動しました。最後の体育大会、優勝することはできなかったけれど、みんな輝いていました。白組最高でした。

た。みんなのおかげで最高の体育大会になりました。ありがとうございました。

印刷：(有)垂水中央印刷

舞台発表



咲かせよう僕らの笑顔を 伝えよう僕らの奇跡を
～ 紡げ 感動と絆の物語～

文化祭

展示発表

グランプリ



合唱コンクール

伴奏者賞	
1年2組	小森 咲良
2年2組	小畑光瑠瑚
3年1組	脇 美優里
指揮者賞	
1年1組	尾脇陽翔
2年3組	川畑梨花
3年1組	三原奏音

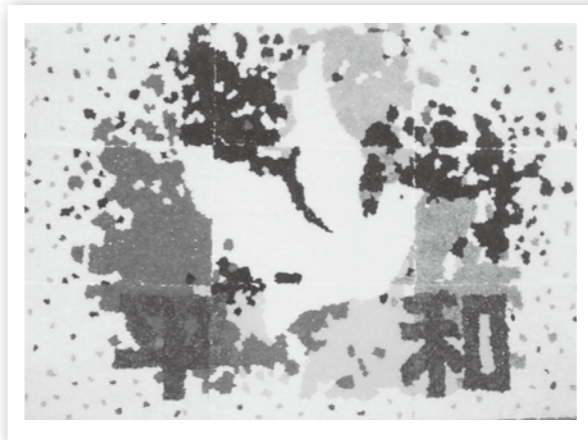
11月11日、文化会館で第九回文化祭が開催されました。午前中は合唱コンクールや并論、図書部や吹奏楽部の発表、午後は三年生、ESS、三年生の劇の舞台発表。展示ではちぎり絵やモザイクアート、各教科の作品など趣向をこらした日頃の成果を披露しました。

一年文化部長 藤迫 奈那
文化部長として取り組んだ初めての文化祭で、不安もありましたが、自分の仕事を達成できたので良かったです。また、他の文化部のメンバーが、様々な面でサポートしてくれたので、一年生全員で取り組んだモザイクアートも、迫力のある作品に作り上げることができました。

実行委員としては、舞台裏の係で大変でしたが、一つの発表を支えてくださる方々が、どれだけ重要な経験となりました。

二年二組 小平 悠月
今回、僕は二年生の平和の大切さを訴える劇の監督としてたずさわりました。今回の劇で僕は、平和の大切さも伝えることができたと思います。戦争のことを伝える人たちが少なくなっている今、平和について学べる機会は、とても良いことだったと思います。練

文化祭実行委員長
三年一組 園田 未来
今回で第九回となった垂水中央文化祭。私達は皆で一つの事をつくり上げていくことの大変さと、垂水中央の強い絆を改めて感じました。文化祭を進めていく中で、互いに意見が対立してしまうことが何回もありました。しかし、それら乗り越えたからこそ、皆との絆を深め、今回の文化祭を成功させることができたと思います。そして、何よりも仲間と協力していくことで、不可能を可能にし、たくさん仲間とこの文化祭をつ



くり上げることができて、とても楽しかったです。また「仲間」の大切さも実感することができました。この素晴らしい文化祭に実行委員長としてたずさわることができて本当に良かったです。本当にありがとうございました。

今回合唱コンクールのグランプリをとって、練習の成果が出たなと一番に思いました。最初の頃は、本当に下手でグランプリをとるなんて夢だったけれど、朝の時間や昼休み、放課後などを使ってたくさん練習をしたので、グランプリをとることができました。体育大会ではダブル優勝、合唱コンクールはグランプリ！三年一組の団結力はどこにも負けません！この調子で、受験に向かって頑張っていこうと思います。

三年一組 小平 姫乃

グランプリクラス



環境整備部より



環境整備部長 中原ひとみ
8月19日に3年生親子の奉仕作業を行いました。8月25日は資源回収を行いました。夏の暑い中での作業でしたが、皆様のご協力ありがとうございました。収益金は13,640円でした。

11月11日はバザーを行いました。短い時間でしたが、盛り上げて下さいました。売上金は19,150円でした。ありがとうございました。

三年生としての劇を終えて

三年一組 三原 奏音

三年三組 川畑 茉央
どんなデザインになるのか分からず、一週間かけて七色の花を作ったり貼りつけたりしていききました。細かい作業が多かったので、不得意な人、得意な人もいて苦労した部分がありました。でも、その壁を乗り越えた先に見た完成作品には達成感があふれていました。展示班全員が最後まで手を抜くことなく、真剣に取り組み作り上げることができたと感じました。

三年生としての劇を終えて、おーい！生存者がいたぞー！！」張り詰めた空気の中で僕のセリフが響き、三年生の劇は始まりました。僕は、主人公の父親の役として舞台に立ちました。つたない演技だったかもしれないですが、「よかったよ！」など「すごく感動した！」などの感想を耳にし、とても嬉しかったです。最後の文化祭としてふさわしく、心に残る素晴らしいものになったと感じました。